

川西市と産官連携プロジェクト 医療従事者4853人を応援、食品ロス削減は 24.3トンで終了

2022年4月18日、食品ロス削減事業を手がける株式会社ロスゼロ（大阪市西区・代表 文美月）は、川西市と包括連携協定を結び、約6カ月にわたる産官連携プロジェクトを行いました。

川西市内の医療従事者に深い慰労と感謝を込めた応援として、同社の取り扱う「もったいない」食品やスイーツをお届けし、同時に累計24.27トンの食品ロスの削減を達成しました。

■ ありがとうプロジェクトとは

株式会社ロスゼロは川西市と連携し、コロナ禍で医療現場の最前線に立つ川西市内の医療従事者に「少しでもホッとした時間を持っていただきたい」という感謝と慰労の気持ちを伝えるため、2021年9月から2022年3月31日にかけて本プロジェクトを実施。同社が取り扱う「安全に食べられるにも関わらず販路を失った」もったいないスイーツや食材を、1人あたり定価9,000円～1万円相当を届け、医療従事者に川西市や市民からの想いを伝えるとともに食品ロスの削減を目指しました。（詳細 <https://www.losszero.jp/kawanishi.html>）



■ 産官民協同モデルとしての意義

本プロジェクトは、企業（ロスゼロ）と自治体（川西市）だけではなく、ふるさと納税を通して寄附をする民間の支援者にも支えられ、「笑顔をつなぐWin-Winプロジェクト」として目的を達成することができました。この事業は産官民の協同によって成立したものであり、経済・

福祉・環境など多方面での社会貢献を目指したことに大きな意義があると考えます。

■ 「笑顔をつなぐWin-Winプロジェクト」としての成果

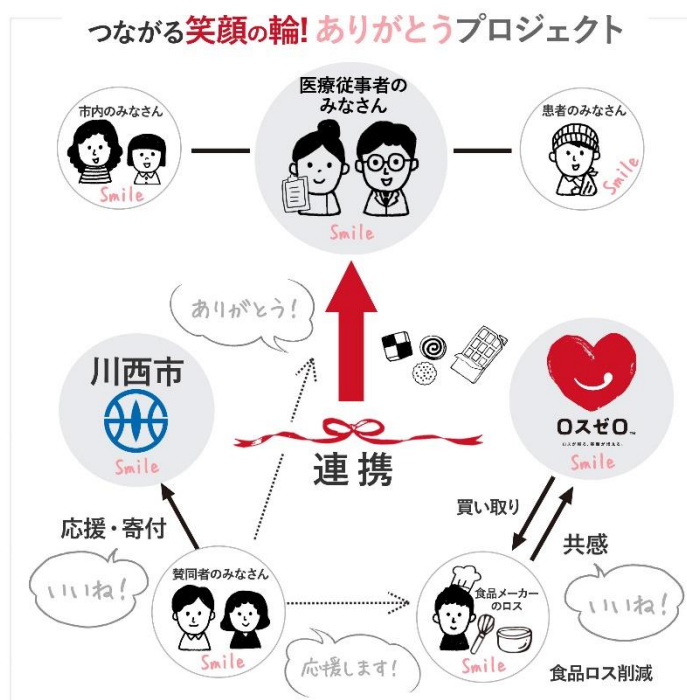
【ロスゼロ】川西市と市民をはじめとしたステークホルダーの橋渡しによって「笑顔をつなぐWin-Winプロジェクト」を達成、結果として食品ロス24.27トン削減。

【川西市】市民のために厳しい医療現場の最前線で医療に従事する方々へ感謝と慰労の気持ちを伝えたいという想いの実現とふるさと納税による地方創生。

【食品メーカー】ロスゼロを利用することで廃棄費用を削減、焼却によるCO2排出を抑制。

【支援者】ふるさと納税を通じた寄附によって、医療従事者と自治体を支援。

【市民・患者】医療の最前線で働く方々に支えられた生活の安心。



■ロスゼロ概要

2018年4月より、製造や流通段階で行き場を失った余剰・規格外品食品を消費者に直接つなぐEC (BtoC) 事業、未利用の原材料を使ったアップサイクル食品を製造・販売する DtoC 事業、サブスクリプション「ロスゼロ不定期便」を運営し、持続可能な社会の実現を目指して食品ロス削減事業を行っています。2020年「食品産業もったいない大賞」特別賞を受賞。

- ・会社名：株式会社ロスゼロ 代表取締役 文美月
- ・所在地：〒550-0014 大阪市西区北堀江 1-1-21 四ツ橋センタービル 9F
- ・URL：<https://www.losszero.jp/>

【お問合せ先】株式会社ロスゼロ 広報担当：前川麻希
電話：06-4708-7802 FAX：06-4708-7810